

夜間ぐっすり 排泄ケア

施設・居住系サービス版

推進者用ガイド



排泄ケアで

困っていること、

ないですか？

尿量が多い

交換のときに
断られてしまう

トイレが頻回

シーツ交換までするとへとへと

介護職の方は夜勤のおむつ交換の際に、ご入居者に蹴られてしまったり、
大声を出されてしまったりした経験がある方もいるのではないのでしょうか。

どうして断られてしまうのでしょうか？

そもそも排泄はプライバシーや尊厳に関わる部分です。

やっと寝入ったところを夜に何度も起こされ、排泄のお手伝いをされる。

朝起こしてもらっても、ぐっすり眠れた感じがしないのかもしれません。

私たちも、夜寝ているときに何度も起こされたとしたらどうでしょう。

そして、眠れなかった次の日の朝あるいは昼間は、体がだるくて、

何もする気が起きなかったり、いらいらしたり、しんどい一日になりますね。

「夜間ぐっすり排泄ケア[※]」とは私たちにとっては当たり前の
“夜はぐっすり寝て、
昼間元気にやりたいことをする”
を支えるためのケアです。

※商標登録出願中



ベネッセスタイルケアで取り組んだ 「夜間ぐっすり排泄ケア」について

本データはユニ・チャーム株式会社との共同研究の成果で、第32回日本老年泌尿器科学会学術集会にて「夜間のパッド交換見直しが睡眠状態および意欲・ADLに与える影響－大規模データに基づく効果検証－」と題して発表したものです。

● 対象者の選定方法 ●

各ホームで、夜間に定時のパッド交換を行っている方（特に夜間の睡眠に何らかの困難を抱えている方）の中から、説明の上同意が得られた方を選定。

● 分析対象 ●

2018年6月1日から2019年2月15日の間に事前評価および3ヶ月評価が終了した549名。

● 分析方法 ●

取り組み前と取り組み開始から3か月後の対象者の状態を、以下の指標に基づいて評価し、比較。

- ・睡眠状態：アテネ不眠尺度
- ・意欲：バイタリティインデックス
- ・ADL：バーセルインデックス

アテネ不眠尺度 ……世界保健機関(WHO)が中心になり設立した「睡眠と健康に関する世界プロジェクト」が作成した世界共通の不眠症の判定方法。本来はご本人の主観に基づき評価を行うが、今回の取り組みでは、ご自身で回答できない方については職員による客観評価にて代替。職員の評価と実際の睡眠状態の乖離がないかどうかは、一部の対象者についてパラマウントベッド株式会社の「眠りSCAN」を用いた検証を実施。

バイタリティインデックス ……鳥羽 研二氏らによって開発された、日常生活動作に関連した「意欲」についての客観的評価指標。

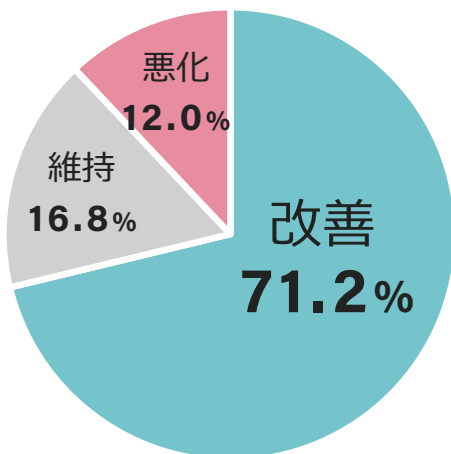
バーセルインデックス ……日常生活動作(ADL)の評価指標の1つ。要介護認定の際にも使われる。

● 結 果 ●

取り組み開始から3ヶ月で、睡眠状態については71.2%、意欲については39.7%、ADLについては23.5%の対象者において改善傾向が見られました。

ベネッセスタイルケアの ご入居者549名の3ヶ月間の変化

(平均年齢89.3歳、平均要介護度4.05) ※第32回日本老年泌尿器科学会学術集会にて発表



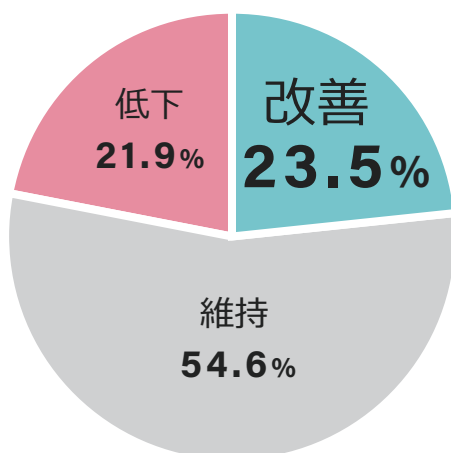
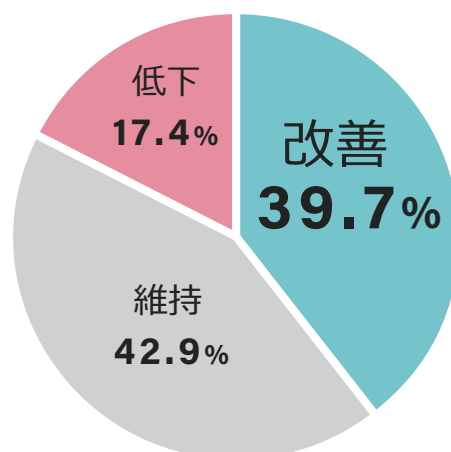
睡眠状態

(アテネ不眠尺度)



意欲

(バイタリティインデックス)



ADL

(バーセルインデックス)



「夜間ぐっすり排泄ケア」 効果と感想

今回の取り組みを行ったベネッセスタイルケア職員の声

おむつ交換のときに
協力してくださるようになった

ご自分で食事を
召し上がるようになった

食事の量が増えた

夜ぐっすりおやすみに
なれるようになった

笑顔が増えた

夜間の
転倒回数が減った

ご家族との
会話が増えた

日中、趣味を
楽しめるようになった

イライラされる
ことが減った

朝うとうと
されなくなった

夜間眠れることで 日中の覚醒状態が大きく改善！

職員の变化

2017年「まどか茨木」で「夜間ぐっすり排泄ケア」を実践した際、今までの「当たり前」を変えることに最初は職員みんな懐疑的でした。しかし、さまざまなアプローチで意義や成功事例を共有することで、取り組みが施設全体に広がっていきました。ご入居者の変化はもちろん、職員自身も夜勤明けでも表情が明るくなり、体調が改善した者もいるなど、ポジティブな連鎖が生まれました。さらに職員に時間と余裕ができたことで、お一人おひとりのご入居者のケアをより深く考え、積極的に話し合う環境ができたことは、大きな収穫でした。

次は、あなたの施設でも。



元まどか茨木 ホーム長
現メディカル・リハビリホームグラウンド箕面 ホーム長

北山 千佳

「夜間ぐっすり排泄ケア」の全体像

夜間のおむつ交換回数を見直す（減らす）ことで...



ご入居者

- ・夜間はぐっすりおやすみ → 日中の活動量が増える
- ・スキントラブルが減る



職員

おむつ交換の時間が他のことに使えるようになるため、お一人おひとりに向き合う時間が増える



ご入居者

夜間良く眠れるようになることで、日中の覚醒度が上がり、活動量や意欲も向上

- ・食事の自力摂取ができるようになったり、摂取量が増えたりする
- ・排便リズムが整う ※
- ・薬が減る（排便コントロール薬）
- ・座位や立位が安定し、転倒回数の減少にもつながる
- ・さまざまな活動への参加が増える

※夜間ぐっすり排泄ケアの取り組みを機にお薬による排便コントロールの取り組みを進めることによるもの。

この冊子の使い方

進め方 やり方



推進メンバー

＼まずはこれを見て始めよう！／



職員全員

全職員とは、このガイドブック
に沿って取り組みを進める

夜間ぐっすり 排泄ケア

施設・居住系サービス版
推進者用ガイド



夜間ぐっすり 排泄ケア

施設・居住系サービス版
スタートガイド



ver. 1.2

成功の コツ ポイント

夜間ぐっすり 排泄ケア

施設・居住系サービス版
Q & A 集（よくある質問）



うまくいくコツがわかります。
はじめにざっと目を通し、
作戦をたてましょう。
困ったときに、もう一度読むと
ヒントが見つかるかもしれません。

目次

- 01. まずはみんなでやる気になろう — P 9
- 02. すぐにメリットを感じていただけ
そうな方に提案しよう — P10
- 03. 夜間の排泄ケア方法を見直そう — P11
- 04. ご本人、ご家族に説明し、
ご同意をいただこう — P15
- 05. さあ、はじめよう！ — P17
- 06. 結果を振り返ってみんなで共有しよう — P24
- 07. うまくいったら、ほかのご入居者に
も提案してみよう — P25

01 まずはみんなでやる気になろう

ねらい

「ご入居者にとってよさそう」という共通認識を持ち、「やってみたい」と思ってくれる仲間を増やす

実施日

実施すること

- ☐ ミーティングの場などを活用し、「夜間ぐっすり排泄ケア」の勉強会を実施する。
- ☐ ご入居者にとってなぜよいのかをみんなで考え、共通認識を持つ。
- ☐ 勉強会が終わったら次の打合せの日程を決める。

職員全員に共有すること

- ✓ 「夜ぐっすり眠り、昼間やりたいことをする」ことがご入居者にとって自然であること
- ✓ 最新のおむつやパッドの性能・進化
- ✓ もれない、おむつやパッドのあて方
- ✓ 取り組みの進め方

※どなたにご提案できそうかもみんなで考えてみましょう。

用意するもの

- ✓ 「夜間ぐっすり排泄ケア 施設・居住系サービス版スタートガイド」※職員全員に配布
- ✓ 「介護アンテナ」に掲載されている実際に「夜間ぐっすり排泄ケア」を実践している施設のインタビュー動画
→https://www.kaigo-antenna.jp/kaigo-maruwakari/kaigo-technique/tec_007/detail-70/



02 すぐにメリットを感じていただけ そうな方にご提案しよう

ねらい

「夜間ぐっすり排泄ケア」によって、その方の目指したい姿や生活に近づけそうな方に、まず提案してみる。

実施すること

☐ 「夜間ぐっすり排泄ケア」を提案する方を決める。

居室番号	お名前（イニシャル）	目指したい姿 / 生活

決めるときの観点

- ✓ 夜間、パッドを使用している方※1
- ✓ 夜間の排便がない方※2
- ✓ 職員が排泄介助をしている方
- ✓ 皮膚トラブルがない方※3
- ✓ アセスメントの結果、以下のように思われる方
 - ・夜間のパッド交換に拒否がある方
 - ・夜間あまり眠られていない、眠りが浅い方
 - ・日中、傾眠がちな方

※1 排尿があった場合はパッド交換、排便があった場合はおむつ交換が前提。

※2 下剤を使用している方は夜間帯の排便とならないよう、看護職と連携した排便コントロールが重要。

※3 皮膚トラブルがある場合は看護職に実施の可否を相談する。

記録を確認したり、普段のご様子を共有しながら、職員みんなで決めましょう！

03 夜間の排泄ケア方法を見直そう

STEP1 一晩の「尿量」をはかる

ねらい

おむつ・パッド選定や交換回数・タイミングを決めるため排泄状況を把握する。

開始日

準備するもの

☒ 家庭用のはかり

☒ 排泄チェック表、ペン

記録する

交換を見直したい時間帯のパッド交換のたびに、使用済みパッドの重さをはかりで計測し、26 ページの排泄チェック表に記入する。

計測日数の目安

基本

日によって尿量が大きく違う場合

3日間 + 2日間

尿量を計算する

全計測日の使用後パッドの総重量から未使用パッドの総重量をひき、計測日数で割って、平均尿量を算出。

計算例

※1g=1ml として計算

使用後パッドの総重量 1,990g
未使用パッドの総重量 550g の場合
計測日数 3日間

使用後パッドの総重量 未使用パッド11枚分 計測日数
(1,990g - 550g) ÷ 3

この場合の平均尿量 = 480ml

排泄チェック表 記入例

未使用パッドの重量

① 50 g

チェック日		チェック項目	20:00	21:00	22:00	23:00	0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	合計	交換回数
1	2/3	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	680g	4回
		使用後のパッドの重量	g	100g	g	g	230g	g	g	110g	g	g	240g		
		漏れの有無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無		
2	2/4	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	660g	3回
		使用後のパッド重量	200g	g	g	g	180g	g	g	g	g	g	280g		
		漏れの有無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無		
3	2/5	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	650g	4回
		使用後のパッドの重量	80g	g	g	g	210g	g	g	100g	g	260g	g		
		漏れの有無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無		
平均尿量の計算														②	③
①未使用のパッドの重量		×	③パッド交換総数		=	④未使用のパッドの総重量		パッド交換ごとに該当する時間帯の欄にパッドの重さを記入						合計	
50g			11回			550g								1,990g	11回

平均尿量の計算

①未使用のパッドの重量 50 g × ③パッド交換総数 11 回 = ④未使用のパッドの総重量 550 g

パッド交換ごとに該当する時間帯の欄にパッドの重さを記入

(②使用後のパッドの総重量 1,990 g - ④ 550 g) ÷ 計測日数 3 日 = 平均尿量 480 ml

排泄チェック表通りに計算すれば平均尿量が出る

STEP2 適切なおむつ、パッドを選ぶ

ねらい

ご入居者に合ったパッド・おむつを選び、成功への第1歩を踏み出す。

実施日

おむつ、パッド選びのポイント



逆戻り低減、ズレ・摩擦予防

肌への負担が少ないもの。

吸収力

前ページで計算した平均尿量を十分に吸収する吸収量があるもの。

寝た姿勢による吸収効率を考慮し、吸収量は夜間の平均尿量+200～300mlを目安とするとよい。

例：夜間の平均尿量 480ml の場合

480ml+200～300ml=680～780ml

▶ 750ml、もしくは 800ml 以上の吸収量がある商品を選ぶ

漏れ防止

アウター（おむつ）とパッドは同じメーカーで揃える。

※メーカーはパッドをアウターに合わせた規格で作っていることが多く、同じラインで揃えるほうが漏れが少ない。

（参考）ベネッセスタイルケアの取り組みで実際に使用したもの

ライフリー 一晩中安心さらさらパッド SkinCondition（吸収量 800ml/1,000ml） / ユニ・チャーム株式会社

STEP3 夜間の交換回数とタイミングを決める

ねらい

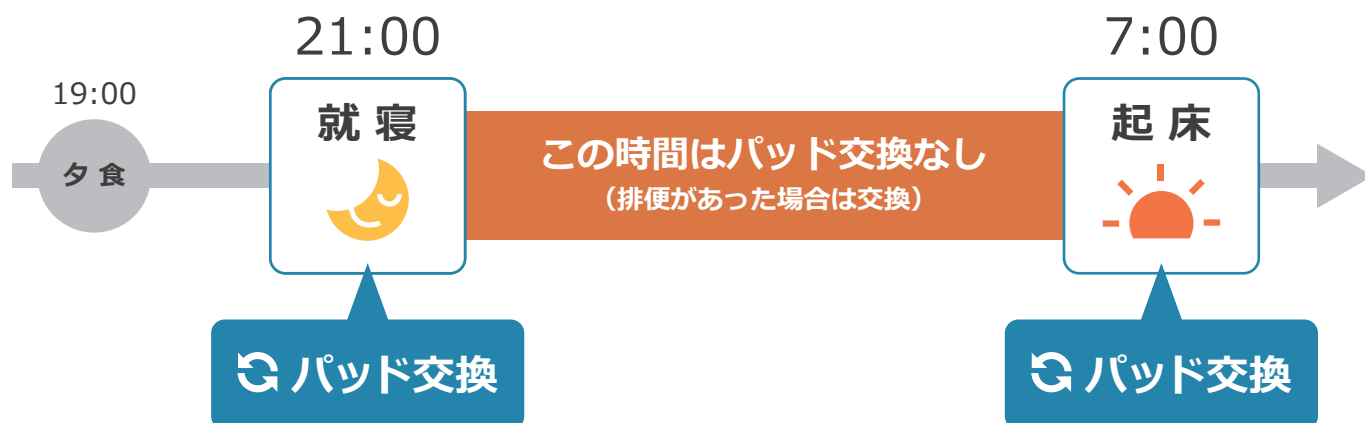
尿量とパッドの吸収量をもとに、適切な交換回数を見極める。

実施日

夜おやすみになられたら、朝までぐっすり眠っていただくことを前提におむつの交換のタイミングを決定する。（＝夜交換したら、朝まで替えない）

- ✓ 平均尿量が多く、どうしても夜間1回交換が必要な場合は、ご本人の眠りが浅いときに替える
- ✓ 排便があったときには必ず交換する
- ✓ 体位交換が必要な方は、体位交換は忘れずに

夜間のパッド交換例



(参考) ベネッセスタイルケアの取り組みで実際に使用したもの

平均尿量 480ml、必要吸収量 680 ～ 780ml の場合に用いるおむつ・パッドの例

【おむつ】ライフリー のびーるフィット テープ止め (吸収量 300ml) / ユニ・チャーム株式会社

【パッド】ライフリー 一晩中安心さらさらパッド SkinCondition (吸収量 800ml) / ユニ・チャーム株式会社

排泄チェック表から、日中・夜間の「交換回数」「時間」を決める。

居室 番号	お名前 (イニシャル)	時間帯	平均尿量	おむつ	パッド	交換 回数	交換時間
(記入例) 101	A.H 様	日中	500	テープ式 (商品名)	(商品名)	4	6・10・16 時
		夜間	680	テープ式 (商品名)	(商品名)	1	21 時
		日中					
		夜間					
		日中					
		夜間					
		日中					
		夜間					
		日中					
		夜間					
		日中					
		夜間					

04 ご本人、ご家族にご説明し、同意をいただこう

ねらい

夜ぐっすり眠っていただき、その方の目指したい姿や生活に近づくために、パッドの変更、臀部用の洗浄液の購入、夜間の排泄介助回数の変更について、ご同意をいただく。

実施すること

☐ ご本人、ご家族に説明し、ご同意をいただく

居室 番号	お名前 (イニシャル)	ご本人への説明		ご家族への説明		実施チェック
		予定日	担当	予定日	担当	
		月 日		月 日		
		月 日		月 日		
		月 日		月 日		
		月 日		月 日		
		月 日		月 日		

お伝えすべきポイント

1 | 提案の目的

高性能のおむつ・パッドを使用することで、夜お休みにいられている間のパッド交換をさけ、夜間ぐっすりお休みになり、昼間元気に過ごしていただくことを通し、その方が目指す姿や生活に近づくことを目指す。

2 | 提案の内容

- ・ご本人の状況に合った、おむつ・パッド製品の提案をする。(長時間使用しても漏れない、蒸れないもの)
- ・夜おやすみになられてから、朝まで眠りを妨げないために、また、おむつ交換による摩擦を最低限にするために、夜間の排泄ケアの回数を減らす。
- ・肌トラブルを防ぐために、肌ケア効果のある「臀部用の洗浄液」での洗浄を提案する。
※20 ページ参照

3 | トータルの費用比較

- ・高性能なおむつ・パッドを使った場合にかかる費用を、1日・1ヶ月あたりで算出し、今かかっているおむつ代からの変化を説明する。

ご本人・ご家族からのよくある質問と回答例

Q. 夜間、長時間パッド交換がないと肌が荒れたりしないのですか？

回答例

高性能のパッドを使うことと臀部用の洗浄液を用いた洗浄により、夜間のパッド交換回数が少なくても、下記のような結果が出ています。（ユニ・チャーム株式会社調べ）

- ・ 尿路感染症のリスクが軽減
- ・ パッド内の温度変化による不快感が軽減
- ・ 臀部のお肌を保護、保湿

もちろん、個人差がありますので、お試し期間を設けてご様子を見ながら、実施するかどうかをご相談させていただきます。また、お通じがありました際には、従来通りにパッドの交換をいたします。

Q. 夜間、様子を見てもらえなくなるのではと心配です。

回答例

夜間の安否確認は、従来通りにいたします。また、お体の向きを変えるお手伝いは今まで通りの回数、時間でさせていただきます。

※ご入居者との契約内容も確認の上、ご回答ください。

Q. 自治体支給のおむつ・パッドも継続して使用したいのですが。

回答例

以下のような提案例から、その方の状況に合わせて提案しましょう。

支給品の中から「夜間ぐっすり排泄ケア」に最適な製品を選んで提案する

- 1 その場合、「夜間ぐっすり排泄ケア」による費用負担の増分は、臀部用の洗浄液分のみとなります。

支給品は昼間に使用し、夜間帯に大容量・高機能パッドの使用を提案する

- 2 その場合、「夜間ぐっすり排泄ケア」による費用負担の増分は、夜間のパッドと臀部用の洗浄液分となります。

おむつ・パッドからではなく、臀部用の洗浄液から開始する

- 3 その場合、「夜間ぐっすり排泄ケア」による費用負担の増分は、臀部用の洗浄液分のみとなります。

05 さあ、はじめよう！

ねらい

まずはご本人が「夜ぐっすり眠る」ことでその方の目指す生活に近づけるように、夜間のおむつの交換回数を減らし、予防発想のスキンケア（臀部用の洗浄液を使った陰部洗浄）をみんなで実施する。

実施手順

- ① 今まで使用していたおむつ・パッドから「夜間ぐっすり排泄ケア」で使用するおむつ・パッドへの切り替え時期を決定し、全職員へ伝達
- ② 「夜間ぐっすり排泄ケア」で使用するおむつ・パッドを決定した交換タイミングで正しくあてる
- ③ おしりのスキンケアを徹底する
- ④ 記録をつけながら最初の 1 週間の経過をみる

1

おむつ・パッドの切り替え時期を決定し、全職員へ伝達

実施日

実施すること

- ☐ どなたに対して、いつからスタートするか、どう変えるのかを職員全員に告知する。
- ☐ 介護サービス提供スケジュールや介護記録の中に、パッド交換のタイミングやその記録の記入箇所をわかりやすく示す。
- ☐ 記録のルールを伝える。

「夜間ぐっすり排泄ケア」の開始スケジュール

居室番号	お名前 (イニシャル)	切替時期 (開始日)	時間帯	おむつ	パッド	交換回数	交換時間
(記入例) 101	A.H 様	1 月 1 日	日中	テープ式 (商品名)	(商品名)	3	6・10・16 時
			夜間	テープ式 (商品名)	(商品名)	1	21 時
			日中				
			夜間				
			日中				
			夜間				
			日中				
			夜間				
			日中				
			夜間				
			日中				
			夜間				

2

選んだおむつ・パッドを、決定した交換タイミングで正しくあてる

プロの技! おむつ・パッドのあて方のポイント

Point 1 ギャザーの機能を活かす

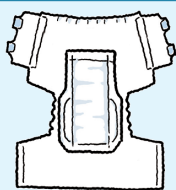
Point 2 パッドの置き位置に配慮する

Point 3 身体とおむつの間にすき間をつくらない

Point 4 おむつ全体をずらさない

おむつ・パッドの正しいあて方

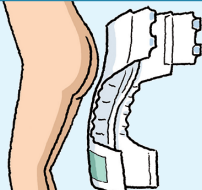
1



尿とりパッドをテープタイプのギャザーの中にセットする。

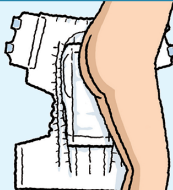
※パッド、おむつ、両方のギャザーをしっかり立てる。
※おむつのギャザーを倒さないようにパッドをセット。

2



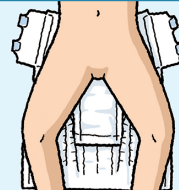
横向きになっていただき、身体の下に半分くらいおむつをもぐらせる。

3



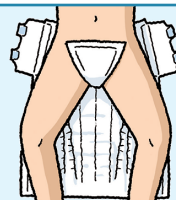
2と反対側の横向きになっていただき、もぐらせていたおむつを引き出す。

4



仰向けになっていただく。

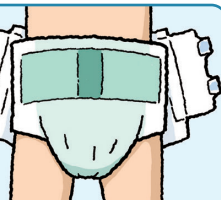
5



尿とりパッドを身体にぴったり当てながら折り返す。

※パッドは山折りで、尿道口に当たるように。

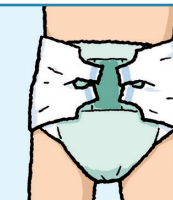
6



足ぐりにすき間ができないよう、おへその付近までおむつを引き上げる。

※おむつをそけい部に沿わせるように。

7



テープを下・下・上・上の順に止める。

※上のテープを腸骨（腰骨）にひっかけるようにして止めると、おむつがズレません。



パッドの重ねあては、おむつの機能を活かせません。重ねずに使いましょう。

▼動画で見たい方はこちら▼

おむつ 当て方動画



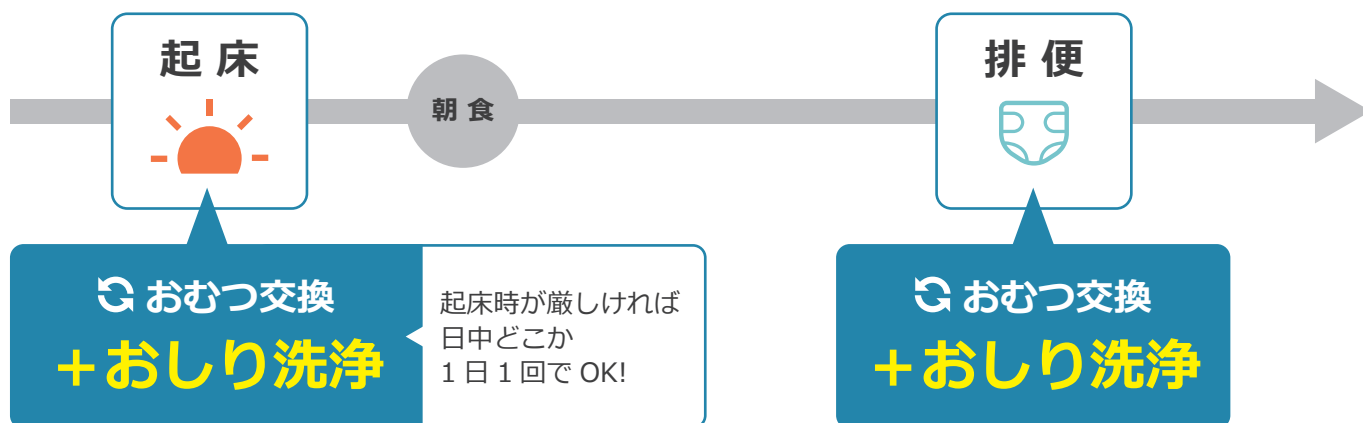
3

おしりをきれいにスキンケア

清潔ケアはぬるま湯だけではなく
臀部用の洗浄液で行いましょう

排便のとき +1 日 1 回は、臀部用の洗浄液でおしりをしっかり洗っていただくことをおすすめします。

おしりスキンケアのタイミング（例）



（参考）ベネッセスタイルケアの取り組みで実際に使用したもの

ライフリーおしり洗浄液 Neo / ユニ・チャーム株式会社

4

記録をつけながら最初の 1 週間の経過をみる

記録に残す項目

- ☐ 交換時刻
- ☐ 使用したおむつ・パッド
- ☐ 漏れの有無
- ☐ 夜間の睡眠の様子、日中覚醒されている頻度、皮膚トラブルの有無・経過

1 週間後の振り返り

- ☐ 記録に基づき評価する
- ☐ そのまま継続するか、見直しが必要かを検討する

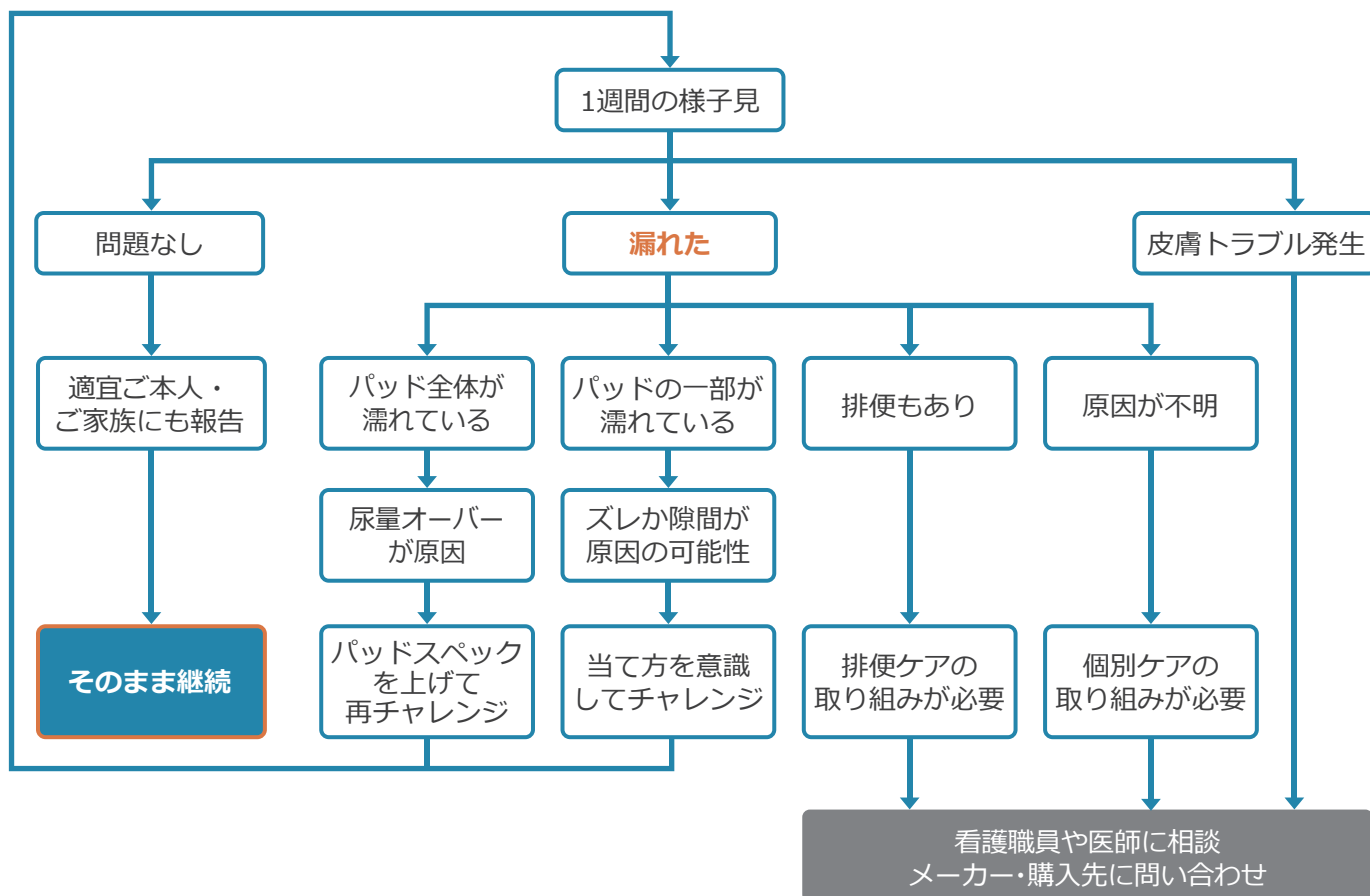
振り返りのポイント

- ① おむつ・パッドからの漏れはありませんでしたか？
- ② お肌の状態に問題はないでしょうか？

▶ 上記のポイントで問題があった場合には、おむつ・パッドの種類や交換頻度、当て方、陰部洗浄の仕方や頻度などを見直してみましょう。

うまくいかない場合には ...

下記チャートを参考に対策を考えましょう。



中期的に変化をみるための記録

※必須ではありませんがお勧めします。

「睡眠状態」「意欲」「ADL」を取り組み前（事前）と取り組み後（3ヶ月・6ヶ月後）で評価し、比べることで変化を可視化できる。

この方法の効果を見える化し、ご本人・ご家族へのご報告ができる

実施すること

※取り組み前に事前評価をすることが重要

- ☐ 睡眠状態、意欲、ADL の評価
- ☐ ご入居者の日々のご様子の記録

評価指標の例

- ・ 睡眠状態：アテネ不眠尺度
- ・ 意欲：バイタリティインデックス
- ・ ADL：バーセルインデックス

アテネ不眠尺度 ……世界保健機関（WHO）が中心になり設立した「睡眠と健康に関する世界プロジェクト」が作成した世界共通の不眠症の判定方法。本来はご本人の主観に基づき評価を行うが、今回の取り組みでは、ご自身で回答できない方については職員による客観評価にて代替。職員の評価と実際の睡眠状態の乖離がないかどうかは、一部の対象者についてパラマウントベッド株式会社の「眠りSCAN」を用いた検証を実施。

バイタリティインデックス ……鳥羽 研二氏らによって開発された、日常生活動作に関連した「意欲」についての客観的評価指標。

バーセルインデックス ……日常生活動作（ADL）の評価指標の1つ。要介護認定の際にも使われる。

06 結果を振り返って みんなで共有しよう

ねらい

- ・ 結果を振り返り、うまくいったことの確認とうまくいかなかったことの見直しによって、より良い排泄ケアに繋げていく。
- ・ うまくいったことをご本人やご家族、職員ともに喜び、その経験をさらに他の方への提案に繋げる。

実施すること

- ☐ 記録や振り返りの結果をまとめる
- ☐ 職員で共有する
- ☐ ご本人、ご家族へ共有する

振り返りのポイント

① ご本人はこれまでよりも眠ることができていましたか？

- ・ 夜間の巡視時に睡眠状態の記録をつけると、変化がわかりやすくなります。
- ・ 睡眠状態全般の評価には「アテネ不眠尺度」を使ってみるのも良いでしょう。(23 ページ参照)

② 日中の意欲はどうでしょうか？

- ・ 日々の介護記録から手がかりを得るのも良いでしょう。
- ・ 「バイタリティインデックス」を使ってみると、数値で変化がわかりやすくなります。(23 ページ参照)

▶ 高齢の方の変化（特に向上）はゆっくり現れることも多いです。変化がないということは、少なくとも低下していないということですので、前向きにとらえましょう。

07 うまくいったら、ほかのご入居者にも提案してみよう

ねらい

- ・ もっと夜間眠ることができる方を増やす。
- ・ 昼間の活気が出てきたら、ご本人の「やりたい」をかなえる。
- ・ 排泄ケアでも、他にご本人の QOL が上げられる取り組みはないか考え、実践する。

実施すること

- ☐ ほかに「夜間ぐっすり排泄ケア」でメリットがある方を探し、提案する。
- ☐ 実践できる職員を増やす。
- ☐ 職員が今まで排泄ケアに使っていた時間を**ご入居者のために有効活用**する。
- ☐ 排泄ケアを**もっと深めてみる**。
→たとえば下剤に頼らない排便の取り組み。

排泄チェック表

① 未使用パッドの重量 g

チェック日		チェック項目	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	合計	交換回数
1	/	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便		
		使用後のパッドの重量 漏れの有無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	g
2	/	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便		
		使用後のパッド重量 漏れの有無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	g
3	/	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便		
		使用後のパッドの重量 漏れの有無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	g
予備 1	/	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便		
		使用後のパッドの重量 漏れの有無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	g
予備 2	/	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便	尿・便		
		使用後のパッドの重量 漏れの有無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	g
平均尿量の計算																					②	③

①主使田のベッドの重量

③パッド交換総数

④主使田のパッドの総重量

平均尿量の計算

①未使用のパッドの重量 g

×

③パッド交換総数 回

=

④未使用のパッドの総重量 g

(

②使用後のパッドの総重量 g

−

④ g

)

÷

計測日数 日

=

平均尿量 ml

MEMO

2020/08/14 ver. 1.0